

天に属する者たちは

コリント人への手紙第一 15章 35-49節

はじめに

私が月の第二週に説教をさせていただく時は、「コリント人への手紙第一」からお話しています。コリント人への手紙第一の15章は「死者の復活」がテーマになっています。

しかしコリント教会の中には、「死者の復活はない」という人たちがいたようです。この人たちは、イエス様は確かに死からよみがえられたけれども、イエス様を信じるクリスチャンは死からよみがえることはないと考えたのです。

私たちはどうでしょうか。私たちの多くは、イエス様が死からよみがえり復活されたことを信じていると思いますが、イエス様を信じる私たちクリスチャンも、やがてイエス様がこの地上に再び来られる時に、死からよみがえり復活すると信じているでしょうか。

私たちは「使徒信条」の中で、「罪の赦し、身体によみがえり、とこしえのいのちを信ず」と告白していますが、それは、イエス様がこの地上に再び来られる時に、私たちの「身体」も死からよみがえり復活することを意味しています。

今日の聖書箇所 35節には、「**しかし『死者はどのようにしてよみがえるのか。どのようなからだで来るのか』と言う人がいるでしょう**」とあります。パウロは今日の聖書箇所、死者は具体的にどのようなからだで復活するのかという疑問に答えています。

私たちのからだも、イエス様がこの地上に再び来られる時に、死からよみがえり復活します。それが聖書の教えです。では、私たちの復活するからだは、具体的にどのようなからだなのでしょう。

1. 今のからだとはいくら違うもの

36-38節にはこうあります。「**愚かな人だ。あなたが蒔くものは、死ななければ生かされません。また、あなたが蒔くものは、後にできるからだけではなく、麦であれ、そのほかの穀物であれ、ただの種粒です。しかし神は、みこころのままに、それにかからだを与え、それぞれの種にそれ自身のからだをお与えになります。**」

パウロはここで、種の例えを用いて、私たちの復活のからだが具体的にどういうからだなのかを説明します。種粒は、土に埋められて腐ります。しかしその腐った種から、芽が出て、花が咲き、やがて実を結びます。その姿は、最初の種からは想像できないほど違ったものです。同じように、私たちのからだも、やがて死んで土に埋められ腐ります（もちろん私たちの国では火葬ですが）。しかしイエス様が再び来られて、私たちのからだが復活する時、私たちのからだは今のからだからは想像できないほど違ったものとなるのです。種粒と花や

実が全く違うように、私たちの復活のからだは、今のからだとは全く違うものとなるのです。

39-41 節にも、私たちの復活のからだは、今のからだとは全く違うものだと言われています。「**どんな肉も同じではなく、人間の肉、獣の肉、鳥の肉、魚の肉、それぞれ違います。また、天上のからだもあり、地上のからだもあり、天上のからだの輝きと地上のからだの輝きは異なり、太陽の輝き、月の輝き、星の輝き、それぞれ違います。星と星の間でも輝きが違います。**」ここでは、復活のからだは、「**天上のからだ**」と呼ばれています。そして、その「**天上のからだ**」は、今のからだ、つまり「**地上のからだ**」とは、肉もからだも輝きも違うと言われています。

パウロが強調していることは、私たちの復活のからだは、今のからだとは全く違うものだということです。しかしパウロは同時に、私たちの復活のからだは、今のからだと連続性があることも語っています。38 節には、「**神は、みこころのままに、それにからだを与え、それぞれの種にそれ自身のからだをお与えになります**」とありました。神様は、「それぞれの種にそれ自身のからだをお与えになる」とあるように、私には私自身のからだを与えられるのです。ひまわりの種からバラの花が咲くことはありません。ひまわりの種にはひまわりの花が咲くのです。同じように、私の復活のからだは、あくまでも私のからだなのです。私の復活のからだは、決してほかの人のからだになることはないのです。

私たちの復活のからだは、今のからだとは肉も輝きも全く違うものになります。しかし、あくまでも私のからだであることには変わりはないのです。今のからだと復活のからだには、非連続性と連続性の二つの面があるのです。

2. 朽ちないもの、栄光あるもの、力あるもの

私たちの復活のからだはどのようなものなのか、もう少し具体的に見ていきましょう。42-44 節にはこうあります。「**死者の復活もこれと同じです。朽ちるもので蒔かれ、朽ちないものによみがえらせ、卑しいもので蒔かれ、栄光あるものによみがえらせ、弱いもので蒔かれ、力あるものによみがえらせ、血肉のからだで蒔かれ、御霊に属するからだによみがえらせるのです。血肉のからだがあるのですから、御霊のからだもあるのです。**」

今の私たちのからだは、朽ちるものです。私たちのからだはやがて腐り、滅びていくものです。しかし復活のからだは、決して腐ることも滅びることもないのです。

また今の私たちのからだは、卑しいものです。私たちのからだは、あらゆる恥ずべき行為をし、あらゆる罪を犯します。しかし復活のからだは、栄光のからだであり、決して罪を犯すことはない、罪から解放されたからだなのです。

また今の私たちのからだは、弱いものです。生まれつき障がいがあることもあります。疲れることもあります。怪我をしたり病気になったりすることもあります。年とともに衰えていくこともあります。しかし復活のからだは、弱さが全くないからだです。病気や障がいもなく、疲れることも衰えることもない、力に満ちたからだなのです。

このように私たちの復活のからだは、腐ることも滅びることもなく、罪を犯すこともなく、病気になったり衰えることもなく、栄光と力に満ちたからだなのです。

44 節には、私たちの復活のからだは、「御霊のからだ」とも呼ばれています。私たちは、イエス様を信じる時に、御霊、聖霊が与えられます。というより、私たちは聖霊が与えられているからこそ、新しく生まれ、イエス様を信じているのです。その聖霊は今、私たちのうちにおられます。パウロは、Ⅰコリント 6：19 でこう言っています。「**あなたがたは知らないのですか。あなたがたのからだは、あなたがたのうちにおられる、神から受けた聖霊の宮であり、あなたがたはもはや自分自身のものではありません。**」

私たちの今のからだは、聖霊の宮であり、私たちのうちに聖霊がいつもともにおられます。しかし私たちの今のからだは、朽ちるものであり、卑しいものであり、弱いものです。つまり罪と弱さを帯びたからだです。そこに聖霊が住んでくださり、私たちを日々新しくしてくださっているのです。Ⅱコリント 4：16 に、「**たとえ私たちの外なる人は衰えても、内なる人は日々新たにされています**」とあるとおりです。私たちの今のからだは、聖霊が住むには、あまりにも見合わないからだです。しかし私たちの復活のからだは、朽ちることもなく、栄光と力に満ちたからだです。つまり聖霊にぴったりのからだを与えられるのです。聖霊は、私たちの内なる人を造り変え、日々新しくして下さいます。そして、やがてイエス様がこの地上に再び来られる時に、「御霊のからだ」を私たちに与えて、御霊に満ちた魂とからだを持つ人として、私たちの救いを完成して下さるのです。

3. キリストのかたち

45-49 節でパウロは、アダムとイエス様を比較しながら、私たちの復活のからだについて説明しています。「**こう書かれています。『最初の人アダムは生きるものとなった。』しかし、最後のアダムはいのちを与える御霊となりました。最初にあったのは、御霊のものではなく血肉のものです。御霊のものは後に来るのです。第一の人は地から出て、土で造られた人ですが、第二の人は天から出た方です。土で造られた者たちはみな、この土で造られた人に似ており、天に属する者たちはみな、この天に属する方に似ています。私たちは、土で造られた人のかたちを持っていたように、天に属する方のかたちをもつことになるのです。**」

ここでイエス様は、「最後のアダム」また「第二の人」と呼ばれています。アダムは全人類の代表でした。アダムが全人類の代表として神様に罪を犯した結果、全人類は罪の性質を持って生まれ、死を招くようになりました。私たちもアダムの子孫であり、私たちのからだは土で造られた、朽ちるもの、卑しいもの、弱いものです。

しかしイエス様は、天から遣わされた「第二のアダム」です。イエス様は、イエス様を信じる者たちの代表として、神様に完全に従い、十字架と復活においてイエス様を信じる者たちの罪を完全に償われました。その結果、イエス様を信じる者たちは、罪を赦され、天国に属し、死に打ち勝つことができるのです。アダムは、全人類に「死」をもたらしましたが、第二のアダムであるイエス様は、イエス様を信じる者たちに「いのち」をもたらしたのです。

アダムの子孫である私たちは皆、アダムに似ています。罪の性質を持ち、朽ちるからだ、卑しいからだ、弱いからだを持ち、やがて死を迎えます。しかしイエス様を信じる者たちは、

イエス様に似るのです。イエス様が天国に属しているように、天国に属するようになるのです。そして私たちのからだも、イエス様の復活のからだと同じようになるのです。

私たちの復活のからだは、朽ちないからだであり、栄光と力に満ちたからだです。そして「天上のからだ」であり、聖霊が住むのに見合う「御霊のからだ」です。それは一言でいえば、復活のイエス様のからだと同じようなからだなのです。

私たちは、イエス様を信じ、聖霊が私たちのうちに住んでくださっています。そして聖霊が私たちのうちで、私たちの内なる人をイエス様の似姿へと日々新しくしてくださっています。Ⅱコリント 3：18 に、「**私たちはみな、覆いを取り除かれた顔に、鏡のように主の栄光を映しつつ、栄光から栄光へと、主と同じかたちに姿を変えられていきます。これはまさに、御霊なる主の働きによるのです**」とあるとおりです。そして私たちはやがて、イエス様がこの地上に再び来られる時に、私たちの内なる人だけでなく、外なる人もイエス様の似姿に新しくされるのです。そしてその時に、私たちの内なる人も、外なる人もイエス様の似姿にされ、私たちの救いが完成するのです。

おわりに

最後に、36 節の言葉をもう一度、思い出しましょう。「あなたが蒔くものは、死ななければ生かされません。」種は、土に埋められ腐ることで、芽を出して花を咲かせ、実を実らせます。私たちも、死ぬことで生かされるのです。私たちのからだも、死ぬことで「復活のからだ」を持つようになるのです。

私たちの今のからだは、朽ちるものであり、卑しいものであり、弱いものです。今のからだですら生きる時、私たちには罪の誘惑があり、障がいがあったり、病気になったりします。そして衰えていきます。そこには、コンプレックスがあったり、苦しさや痛みがあったり、不安や心配がいつも付きまといまいます。しかし「復活のからだ」には、それらは一切ありません。復活のからだは、障がいもなく、病気も怪我もありません。罪に煩わされることも、死を恐れることもありません。

私たちの死は、確かに痛みや苦しみを伴い、愛する人たちとの別れを伴います。しかしイエス様を信じる者には、死は決して悪いものばかりではありません。イエス様を信じる者は、死ぬことで天国に迎えられ、魂の完全な安らぎを得るようになるのです。そしてやがて、朽ちることもなく、栄光と力に満ちた「復活のからだ」を与えられるのです。それは、今の私たちのからだとは全く違ったものですが、確かに私のからだなのです。

私たちのからだは、私たちに多くの罪や苦しみをもたらすものでもあるので、ギリシアの思想では、からだから解放されることが救いだと考えたほどです。しかし聖書が教える救いは決して、魂だけの救いではありません。私たちはからだも救われるのです。

私たちは、イエス様がこの地上に再び来られる時に、完全に救われた魂とからだをもって、新しい天と新しい地で、神様の栄光を現わし、永遠に神様を喜んで生きるようになるのです。これが、イエス様を信じる者たちに与えられている約束であり、希望です。

天におられる私たちの父なる神様。

私たちの今のからだは、朽ちるものであり、卑しいものであり、弱いものです。このからだから私たちは、様々な痛みと苦しみ、不安と恐れがもたらされます。しかしイエスを信じる者たちのからだは、やがて朽ちないもの、栄光あるもの、力あるものによみがえります。そのことを信じさせてください。そのことに希望をもって、残りの生涯を歩ませてください。

この祈りを私たちの救い主イエス・キリストの御名によってお祈ります。アーメン。